

【情報名】 平板飼料による1～2齢1回給餌育技術							
部門	蚕糸	専門	飼育	分類	指導	連絡先	資源開発部
【実施機関名】三重県農業技術センター						05984-2-6362	
【要約】2齢までの稚蚕人工飼料育において、平板状飼料を用い掃立以後の給餌等の作業を省き飼育し、2齢就眠時までの飼育に要する労力の大幅な削減が図れる。 キーワード：蚕、稚蚕、人工飼料育							

【背景・ねらい】

本県における稚蚕共同飼育所では労働力の不足及び高齢化等が大きな問題となっている。そこで、平板給餌法を採用すると、掃立以後の給餌・拡座・むらなおし等の作業が大幅に省略できる1～2齢人工飼料育が可能である。

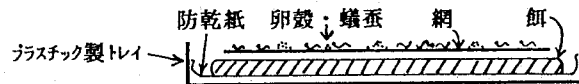
【情報の内容・特徴】

プラスチック製トレイ（大型せいろう, 179×87×6cm）を使い、平板飼料の上にトリカルネット（1cm角）を置き（第1回参照）、その上からあらかじめ卵消毒しておいた蟻蚕を掃き落とし、順次トレイを積み重ねる。最後に飼料の乾燥を防ぐためにさらにビニールシートで覆う。（飼育温・湿度29℃、80～90%）。供試蚕品種は春蚕期「春嶺1号×鐘月1号」、夏秋蚕期「錦秋1号×鐘和1号」。

- (1) 掃立以後2齢就眠までの飼育作業の出役日数は1/6まで省略できる。
- (2) 小規模持ち寄り飼育に対応できる。

【情報活用上の留意点】

- 1、トレイ1枚当たりの飼育頭数は10,000頭（6,420頭/m²）である。
- 2、飼料の腐敗やカビの発生を防ぐため、飼育施設や器具の消毒、飼料の取り扱いは手袋等の着用が必要である。
- 3、大量の人工飼料の整形にはローラー式圧延機が必要である。
- 4、底面が網目状になっているプラスチック製トレイを使用する場合は防乾紙等を敷き縁をテープでとめる。また、トレイの縁にスリットがある場合もテープでふさぐ。



第1図、平板給餌法

【具体的データ】

第1表、切削給餌法と平板給餌法の比較

齢	1齢 (1眠)				2齢				対1万頭給餌量	
	1	2	3	4	5	6	7	8	1齢	2齢 (g)
経過日数	1	2	3	4	5	6	7	8	2,100	
平板給餌法	掃立	省略①	②		③	④	⑤	配蚕		
切削給餌法	掃立	給餌	拡座		給食	給餌	拡座	配蚕	450	1,450

第2表、3齢起蚕時の揃い調査（平成3年3蚕期平均）

区別	遅眠蚕	2眠蚕	3齢起蚕	1～2齢減蚕歩合	合計
平板給餌法（所内）	0.7%	2.4%	94.8%	2.1%	100%
”（現地）	0.8	2.5	94.5	2.2	100
切削給餌法（所内）	0.5	1.0	97.0	1.5	100

第3表、飼育調査及び繭質調査（平成3年）

蚕期	蚕品種	区別	飼育経過	1Q	単繭重	繭層歩合
			1～2齢	粒数	繭重	
春	春嶺1号 ×鐘月1号	平板（所内）	8.00 d.h	76粒	1.86 g	23.0%
		”（現地）	8.00	77	1.81	23.5
		切削（所内）	8.00	83	1.74	21.9
初秋	錦秋1号 ×鐘和1号	平板（所内）	8.00	86	1.82	23.4
		”（現地）	8.00	88	1.80	23.5
		切削（所内）	8.00	90	1.77	23.5
晩秋	錦秋1号 ×鐘和1号	平板（所内）	8.00	83	1.86	23.2
		”（現地）	8.00	85	1.67	23.0
		切削（所内）	8.00	87	1.76	23.2

【その他特記事項】

研究課題名：効率的人工飼料育技術の確立
 研究期間：平成1年～5年 予算区分：県単
 研究担当者名：鈴木 保次、堀 千秋
 発表：平成3年度日本蚕糸学会東海支部大会